TOSHIBA
Leading Innovation >>>

取扱説明書

東芝冷凍冷蔵庫 家庭用

形 名

GR-B38N
GR-B34N

もくじ

●このたびは東芝冷凍冷蔵庫をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
●この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
●お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。
●保証書は必ずお受け取りください。
●この取扱説明書はGR-B38Nのイラスト･写真を使用して説明していますが、GR-B34Nもご使用方法は同じです。

日本国内専用
Use only in Japan

安全上のご注意　必ずお守りください

つづく…

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠警告　“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定される内容”を示します。

⚠注意　“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定される内容”を示します。

＊1: 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止

⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注意

△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

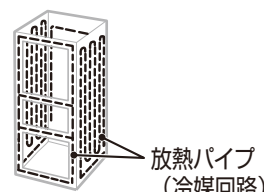
設置について

⚠警告

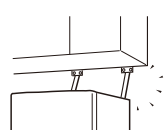
冷媒回路を傷つけない

背面・側面などの冷媒回路を傷つけない

傷ついた場合、冷媒がもれ出し、発火・爆発の原因になります。
傷ついた場合は冷蔵庫に触れず以下の事項を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。

1. 窓を開けて室内の換気を十分にする。（換気扇を使用しないでください。）
2. 火気や電気製品の使用を避ける。

転倒防止する

地震などによる冷蔵庫の転倒防止の処置をする

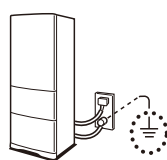
転倒し、けがをする原因になります。

水気禁止

湿気の多い所や、水のかかる所への設置は避ける

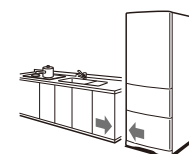
火災・感電の原因になります。

アース線を必ず接続せよ

湿気の多い所や、水気のある所で使うときは、アース（接地）および漏電ブレーカーを取り付ける

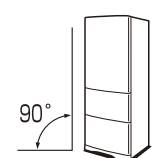
取り付けないと、漏電したときに火災・感電の原因になります。

すき間をあけて据えつける

冷蔵庫の周囲はすき間をあけて据えつける（6ページ参照）

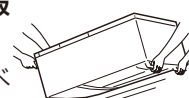
冷媒がもれた場合、滞留し、発火・爆発の原因になります。

⚠注意

水平に据えつける

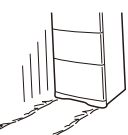
床が丈夫で水平な所に据えつける

不安定な所は転倒してけがをする原因になります。

取っ手を持つ

運搬するときは、前面下部の調整脚と背面上部の運搬用取っ手を持つ

指定場所を持たないと、手がすべってけがをする原因になります。

使用禁止

傷つきやすい床の上では、冷蔵庫下部のキャスター（車輪）は使用しない

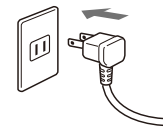
床に傷をつける原因となります。
移動するときは保護用の板などを敷いてください。

電源プラグ・コードについて

電源コードや電源プラグの修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

⚠警告

指示

電源プラグはコードが下向きになるように差し込む

差し込むコードに無理がかかったりして、火災・感電の原因になります。

100V・15A以上

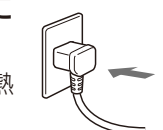
電源は交流100Vで、定格15A以上のコンセントを単独で使用する

延長コードの使用、タコ足配線は火災・感電の原因になります。

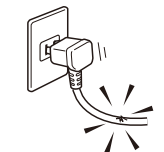
100V
15A以上

根元まで差し込む

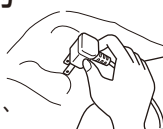
電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

使用禁止

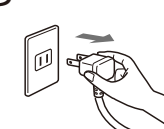
傷んだコードや電源プラグ・コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

火災・感電の原因になります。

プラグを拭く

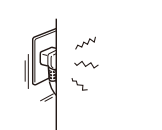
電源プラグのほこりは定期的に取る

電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。絶縁不良になり、火災の原因になります。

プラグを持って抜く

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く

コードを持って抜くと、破損し、火災・感電の原因になります。

禁止

電源プラグや電源コードを傷つけたり、冷蔵庫の背面で押しつけない

束ねたり、折り曲げたり、重いものを載せたり、冷蔵庫の背面で押しつけたりすると、火災・感電の原因になります。

使用について

⚠警告

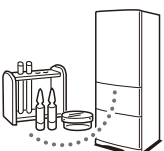
貯蔵禁止

引火しやすいものは入れない

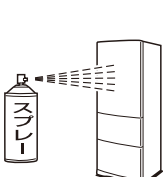
エーテル・ベンジン・アルコール・薬品・LPガスなどは爆発し、事故の原因になります。

貯蔵禁止

医薬品や学術試料は入れない

家庭用冷蔵庫では、温度管理の厳しいものは保存できません。

禁止

可燃性スプレーを近くで使わない

引火して火災の原因になります。

接触禁止

自動製氷機の製氷部分（貯氷コーナーの上部）には手を触れない

製氷皿が回転したとき、けがの原因になります。

腐敗食品食べない

異臭がしたり変色した食品は食べない

冷蔵庫に保存中でも食品の品質は低下します。食中毒や病気の原因になります。

禁止

扉にぶらさがったり、乗ったりしない

倒れたり、扉がはずれたり、手をはさんだりして、けがをする原因になります。

安全上のご注意…つづき

使用について（つづき）

⚠警告

禁止

冷蔵庫の上に物を置かない
扉の開閉などで落下し、けがの原因になります。

水ぬれ禁止

冷蔵庫の上に水を入れた容器を置かない
こぼれた水などで電気絶縁が悪くなり、火災・感電の原因になります。

禁止

庫内で電気製品を使用しない
冷媒がもれた場合、発火・爆発の原因になります。

指示

廃棄するときは、販売店や市町村に引き渡す
放置し、冷媒がもれると、火気による発火・爆発の原因になります。

分解禁止

分解・改造・修理をしない
火災・感電・けが・やけどの原因になります。
また、冷媒回路などを傷つけると発火・爆発の原因になります。
修理はお買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠注意

禁止

食品は棚より前に出さない
ビン類などが引っ掛かって落下し、けがの原因になります。

貯蔵禁止

冷凍室にビン類を入れない
中身が凍って割れ、けがをする原因になります。

禁止

ダブルボトルポケットの前列には、底まで入らないボトル類は入れない
ビール大ビンなどを無理に入れると、扉開閉時に落下し、けがをする原因になります。

ぬれ手禁止

冷凍室の食品や容器（金属製）には、ぬれた手で触れない
低温のため凍傷の原因になります。

ハンドルを押す

引き出し扉を閉めるときは、ハンドルを押して閉める
ハンドルの上面を持って閉めると、指をはさんでけがの原因になります。

指示

扉を開閉するときや、他の人が冷蔵庫に触れているときは、扉で指をはさまないか確認する
扉のすき間に指をはさみ、けがの原因になります。

手入れ・異常時の処置について

⚠警告

水かけ禁止

本体や庫内に水をかけない
電気絶縁が低下し、火災・感電の原因になります。

禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

プラグを抜く

庫内灯を交換するときは、電源プラグを抜く
抜かずに行なうと感電の原因になります。

プラグを抜く

お手入れのときは電源プラグを抜く
感電やけがの原因になります。

プラグを抜く

異常時や故障のときは、電源プラグを抜き運転を停止する
火災・感電・けが・やけどの原因になります。
修理はお買い上げの販売店にご連絡ください。

換気する

可燃性ガス（プロパンガス・都市ガスなど）もれがあったときは、冷蔵庫や電源プラグに触れず窓を開けて換気する
電気接点の火花で引火爆発し、火災・けが・やけどの原因になります。

プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く
絶縁劣化による漏電火災の原因になります。

指定の定格使う

庫内灯は指定の定格のものを使用する
指定以外のものを使うと火災の原因になります。

パッキンをはずす

リサイクル処理時など、冷蔵庫を保管する時に幼児が閉じ込められるおそれがあるときは、扉パッキンをはずす
幼児が閉じ込められ事故の原因になります。

⚠注意

接触禁止

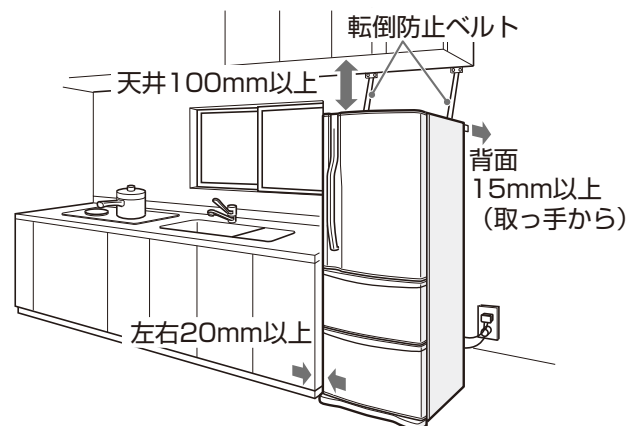
冷蔵庫底面には手や足を入れない
鉄板などで、けがをする原因になります。

据えつけかた

場所の選びかた

●**熱気・直射日光の当たらないところに置く**
冷却力の低下をおさえ、電気代のムダを防ぎます。

●**丈夫で水平なところに据えつける**
振動（騒音）の原因になります。
床がじゅうたん・畳・フローリング・塩化ビニール製などの場合、冷蔵庫底面の熱により変色することがありますので、丈夫な板を敷いてください。

●**周囲にすき間をあける**
すき間が少ないと冷却力が低下し、製氷時間が長くなったり電気代のムダになります。
冷蔵庫が壁などに触れ、振動音がしたり、壁材などが変色するので、少し離してください。

アースのしかた　万一の感電事故防止のために、アース（接地）することをおすすめします。

アース線（付属していません）を使い、背面下部のアース線取付用ねじとアース端子に接続する

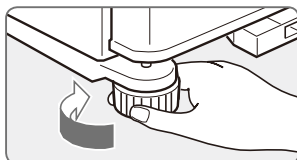
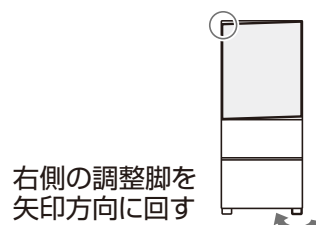
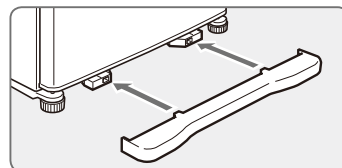
■ **アース端子がない場合**
お買い上げの販売店に依頼し、D 種接地工事（有料）をしてください。

接続してはいけないところ
・水道管やガス管（爆発や引火の危険があります。）
・電話線や避雷針のアース（落雷のとき危険です。）

水気や湿気の多いところに据えつける場合

必ず、アース（接地）を取り付けてください。
特に水気や湿気の多いところに据えつける場合、アース（接地）の他に、漏電ブレーカーの設置が義務付けられています。取り付け（有料）は、お買い上げの販売店にご相談ください。

冷蔵庫を固定する

1 冷蔵庫を安定させる
●左右の調整脚を矢印方向に回して、調整脚を床につけ、ガタつきのないようにしてください。

2 平行度を調整する
●据えつけ後食品を入れてから扉下がりが生ずることがありますので、据えつけてから４～５日後に再度、扉の平行度を調整してください。

3 前面グリルを所定の位置に取り付ける
●前面グリルの中に固定してある配線図は取りはずさないでください。

万一の地震にそなえて

転倒を防ぐため、背面上部にある左右の取っ手に鎖やベルトなどを通し、丈夫な壁や柱に固定してください。
転倒防止ベルトはお買い上げの販売店にご相談ください。（27 ページ参照）

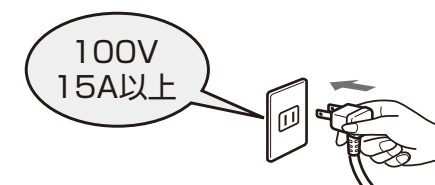
お使いになるまえに

食品を入れるまえに

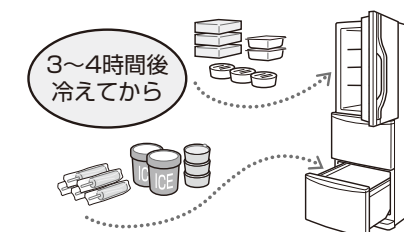
1 庫内をふく
●操作性をよくするため、ケースやレールには食品衛生法に適合した潤滑剤が塗布されています。
たれ落ちるなどしてケースやレール以外に付着している場合は、ふき取ってください。

2 給水タンクや給水経路をお手入れする
（20 ～ 21 ページ参照）

3 電源プラグをコンセントに差し込む
（交流 100V、定格15A 以上のコンセントを単独で使用する）

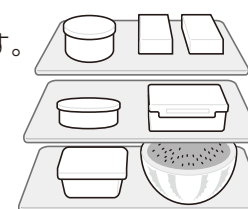
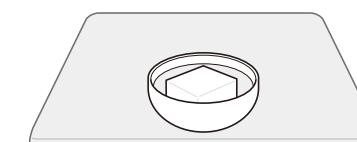
**電源プラグは据えつけ直後、
コンセントに差し込むことができます。**

食品を入れる

**冷えていない食品やアイスクリームは、
３～４時間後、
冷蔵庫が冷えてから入れる**

●最初はプラスチックのにおいがしますが、冷えるとしだいに消えます。

Point　食品の上手な入れかた

●**さます**
熱い食品を入れると、
庫内の温度が上がります。

●**包む**
乾燥やにおい移りを
防ぎます。

●**すき間をあける**
詰めすぎると、
冷気の循環が悪くなります。

●**水分の多い食品は棚の手前に**
奥に置くと、
凍ることがあります。

食品の貯蔵場所

● 温度表示は周囲温度 30℃、食品を入れずに扉を閉め温度が安定したときに測定した値です。

イラストは GR-B38N です。

Point　食品の貯蔵期間の目安

貯蔵する前の鮮度や冷蔵庫の使用状態、フリージング方法などにより貯蔵期間は異なりますので、あくまで目安としてご覧ください。

温度帯	冷　蔵	チルド	冷　凍	野　菜
貯蔵場所	冷蔵室	冷蔵室のチルドルーム	冷凍室	野菜室
食品と貯蔵期間［目安］	卵 ……35 日（生食 7 日） かまぼこ、ちくわ、ハム、ソーセージ ………7 日	かまぼこ、ちくわなどの加工食品 ………8 日 ヨーグルトなどの乳製品 ………7 日	皮をむいたバナナ ……1 ヵ月 ゆでたほうれんそう、砂糖漬けにしたみかん、鶏肉、牛肉スライス、牛肉ステーキ ……3 ヵ月 ゆでたにんじん ……4 ヵ月	みかん、いちご ………5 日 レタス、ほうれんそう、ねぎ、ぶどう ………7 日 りんご、キウイ ……14 日

操作パネル

操作パネルは冷蔵室内にあります。

イラストは GR-B38N です。

冷蔵室温度調節ダイヤル

強	「通常」より 2 ～ 3℃低くなります。
通常（強と弱の中央）	約 3 ～ 6℃
弱	「通常」より 2 ～ 3℃高くなります。

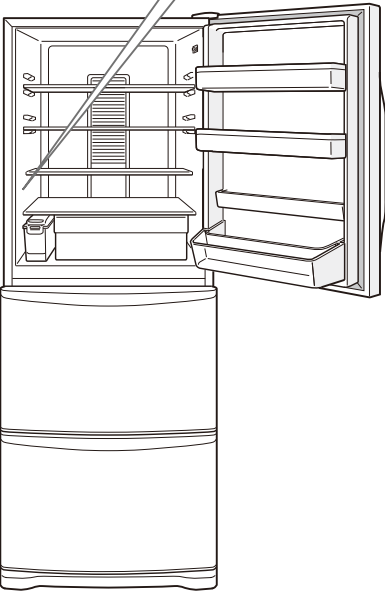
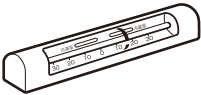
冷凍室温度調節ダイヤル

強	「通常」より 2 ～ 3℃低くなります。
通常（強と弱の中央）	約 -18 ～ -20℃
弱	「通常」より 2 ～ 3℃高くなります。

一気冷凍ボタン

製氷ボタン

■温度調節位置と庫内温度について

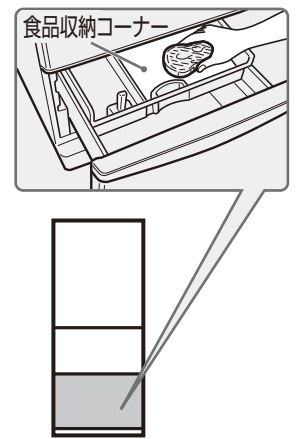
● 表の温度は、周囲温度 30℃、食品を入れずに扉を閉め温度が安定したときに測定した値です。
● チルドルームと野菜室の庫内温度は、冷蔵室の温度調節位置を変えると、ともに変化します。
● **普段は「強」と「弱」の中央でお使いください。**
なお、強く冷やしたいときは「強」側に、冷えすぎるときは「弱」側に設定してください。

庫内温度のはかりかた

冷蔵庫は、JIS（日本工業規格）に基づいて厳重な品質管理の下で生産していますが、庫内の温度は冷蔵庫の据えつけ状態や外気温、使用条件などにより変化します。しかし、中の食品は 8 割前後が水分であるため、比熱が大きく、その温度は空気のように大きく変化はしません。したがって、一般の空気温度をはかる温度計は変化の少ない食品温度の測定ができません。そこで、空気温度の影響を受けにくく、食品に近い温度を示す冷蔵庫用温度計を発売しています。ご購入の際はお買い上げの販売店にご相談ください。（27 ページ参照）
なお、一般のアルコール温度計で冷蔵室内の食品相当温度をはかる場合は、冷蔵室中段の棚の中央に約 100ml の水を入れた容器を置き、感温部を水中に 3 時間程度浸しておきますと、食品に近い温度が得られます。

こんな機能があります

食品をすばやく凍らせる（一気冷凍）

ホームフリージングするときにお使いください。食品をすばやく凍らせるのでおいしさを逃がさずに保存できます。

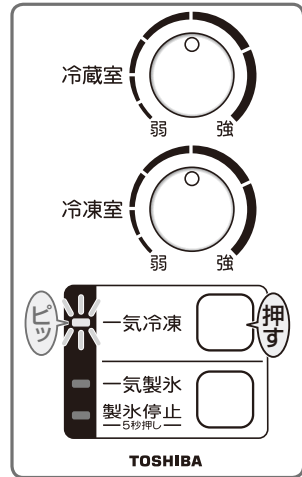
準備

冷凍室スライドケースの食品収納コーナーに食品を置く

1 一気冷凍ボタンを 1 回押す

▶ アラーム音が「ピッ」と鳴り、一気冷凍のランプが点灯します。

2 約 150 分後、自動終了
[一気冷凍のランプ消灯]

一気冷凍を途中で停止するときは、一気冷凍ボタンを 1 回押してください。

▶ アラーム音が「ピチチッ」と鳴り、一気冷凍のランプが消灯します。

氷をはやくつくる（一気製氷）

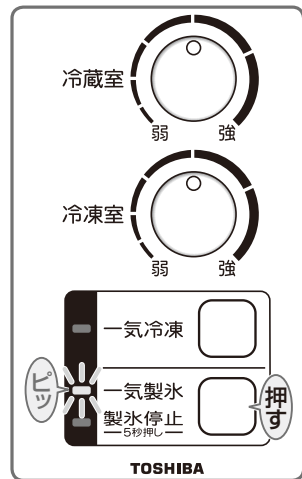
●製氷停止を設定しているときに一気製氷は設定できません。

1 製氷ボタンを 1 回押す

▶ アラーム音が「ピッ」と鳴り、一気製氷のランプが点灯します。

2 約 8 時間後、自動終了
[一気製氷のランプ消灯]

一気製氷を途中で停止するときは、製氷ボタンを 1 回押してください。

▶ アラーム音が「ピチチッ」と鳴り、一気製氷のランプが消灯します。

お知らせ ●給水タンクに水がないときや、氷が満杯になっているときに一気製氷を設定し、一気製氷のランプが点灯しても一気製氷は行いません。

製氷を停止する（製氷停止）

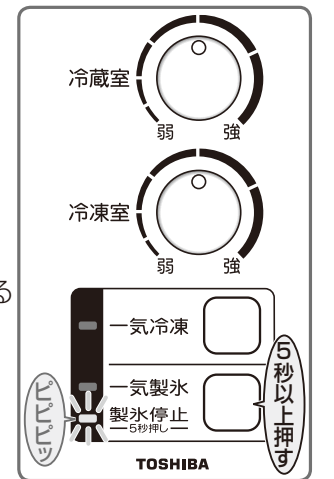
冷凍室扉を閉めて、製氷ボタンを 5 秒以上押す

▶ アラーム音が「ピピピッ」と鳴り、製氷停止のランプが点灯し、製氷を停止します。

製氷停止の解除は、同じ操作をしてください。

▶ アラーム音が「ピピピッ」と鳴り、製氷停止のランプが消灯します。

●長期間、製氷停止する場合、22 ページ「自動製氷機を長期間停止させるとき」の操作をしてください。

お知らせ ●製氷停止を設定すると、内部の製氷皿に残っている氷または水は製氷完了状態になってから貯氷コーナーに落とします。以後、製氷を停止します。

半ドアをお知らせする

●冷蔵室・冷凍室のいずれかの扉の開放時間が 1 分以上になると、下表のようにアラームが鳴ります。

扉の開放時間	アラーム音
1 分後、2 分後	アラームが 7 回鳴ります。
3 分後以降	連続で鳴り続けます。

扉を閉めるとアラームは止まります。

お知らせ ●扉の開きかたが少ないときは鳴りません。
（食品の袋などが、はさまったときなど）

冷蔵室

●小物ポケットには細長いビン類など特に不安定な物は入れないでください。
扉の開閉で落下することがあります。

お知らせ ●冷蔵室扉を約 10 分以上開けていると、庫内灯は自動的に消えます。

自在棚の取り付け位置の変えかた

1 自在棚を取り出す

手前に引き出して、斜め下に取り出す

2 自在棚を取り付ける

「自在棚を取り出す」の逆の要領で、自在棚を取り付ける。

●確実に奥まで押し込んでください。

●自在棚の取り付け位置を変えるときは、食品を他の棚に移してください。

野菜室

■容器の耐荷重

野菜室スライドケース	5.0kg
野菜容器	16.5kg

お知らせ ●野菜から出た水分や水などが容器に露として付いたり、水がたまることがあります。露が付いたり水がたまったときは乾いた布でふき取ってください。

●野菜容器に入れる食品は、野菜室スライドケースを最も前に引き出したときに当たらないようにしてください。
冷えが悪くなったり、露付きの原因になるばかりでなく、破損の原因にもなります。

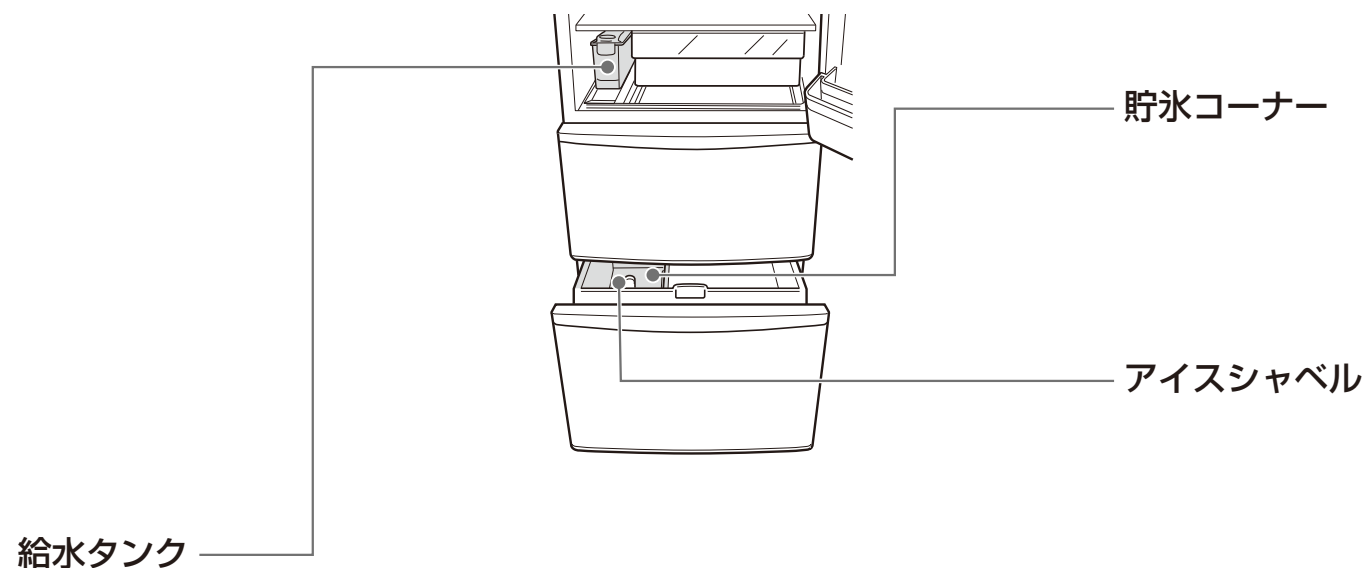
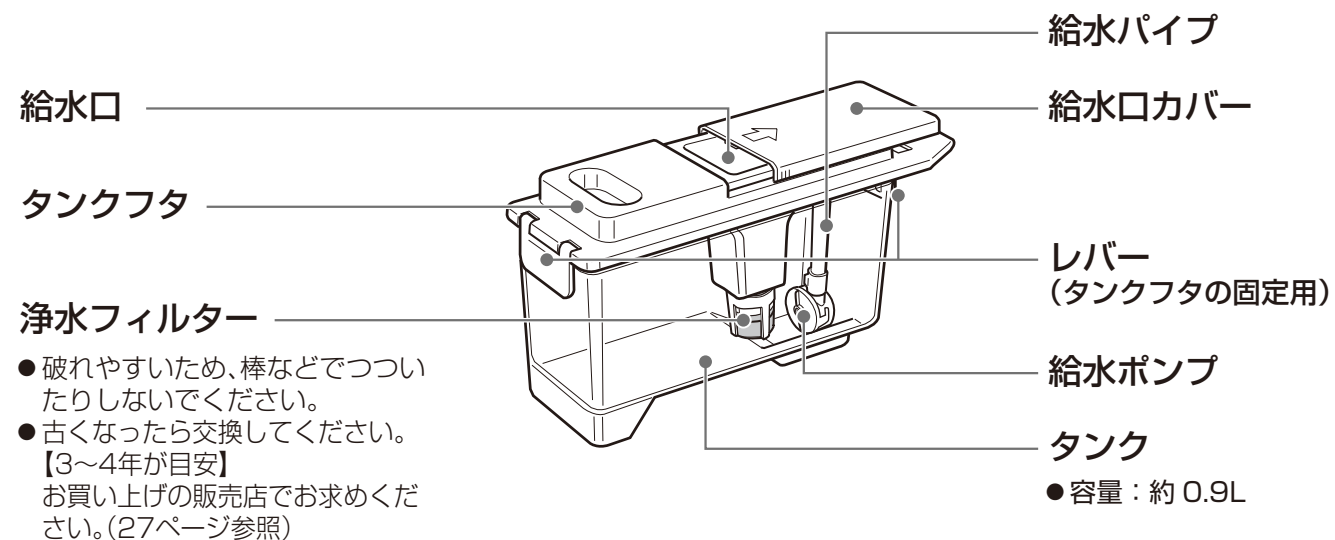
冷凍室

■容器の耐荷重

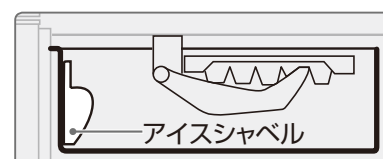
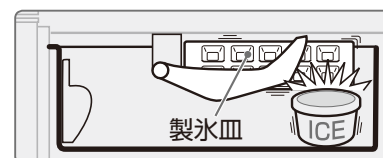
冷凍室スライドケース	11.5kg
ストック容器	22.0kg

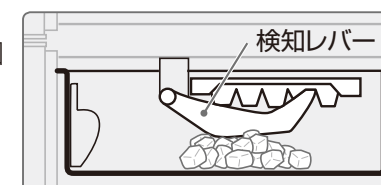
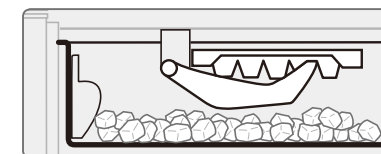
●ストック容器に入れる食品は、冷凍室スライドケースを最も前に引き出したときに当たらないようにしてください。
冷えが悪くなったり、霜付きの原因になるだけでなく、破損の原因にもなります。

自動製氷機

●製氷を止めるときは、「製氷を停止する（製氷停止）」（11ページ参照）をご覧ください。
●水あか、カビなどの発生を防ぐため、給水タンクは使用前に必ず水洗いしてください。
●お使いはじめや、１週間以上使わなかったときの最初の氷（約30個）は捨ててください。
においやほこりが付いていることがあります。

●熱湯（60℃以上）やジュースなど、水以外のものは入れないでください。（故障の原因）

浄水フィルター
●破れやすいため、棒などでつつかないでください。
●古くなったら交換してください。
【3〜4年が目安】
お買い上げの販売店でお求めください。（27ページ参照）

タンク
●容量：約 0.9L

●貯氷コーナーに氷以外のものを入れないでください。
氷以外のものを入れると、回転した製氷皿に当たって破損したり、製氷を中止する原因になります。
●アイスシャベル使用後は、所定の位置にもどしてください。

製氷について

●製氷は、検知レバーに氷が当たるまで続けます。
●通常の製氷では約２時間に１回（角氷 10 個）、一気製氷では約１時間で１回製氷します。（周囲温度 20℃、扉の開閉なし）
なお、冷蔵庫の運転状態により製氷時間が長くなることがあります。
●**次のようなときには、製氷時間が長くなります。**
・**お使いはじめなど、冷凍室が十分冷えていないとき。**
最初の氷ができるまで約５〜６時間かかります。
（特に夏場など周囲温度が高いときには１日以上かかることがあります）
・**扉の開閉数が多いときや、一度に多量の食品を入れたとき。**
・**冬場など周囲温度の低いときや、夏の暑いとき。**
・**冷蔵庫周囲のすき間がせまいとき。（６ページ参照）**

氷が部分的にたまると、早期に検知レバーへ氷が当たり、製氷量が少ない状態で製氷を中止することがあります。

製氷量を正しく検知するために、氷をたいらにならしてください。

●貯氷量

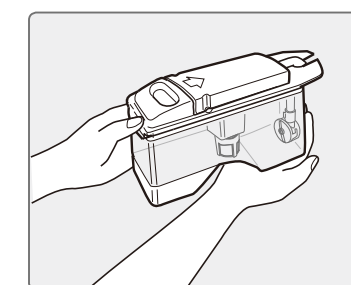
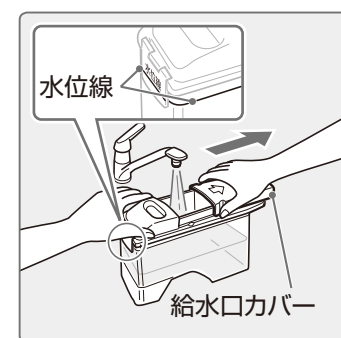
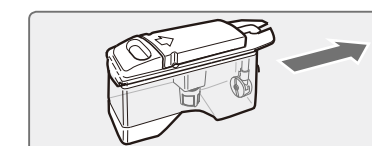
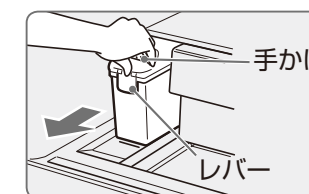
氷をたいらにならして製氷を継続したとき	約 150 個
氷が部分的にたまったとき 冷凍室扉を開閉しないとき	約 50 〜 100 個

●**周囲温度が低いときなど、給水タンクの水が凍ったときは、製氷を中止します。**
この場合は氷を取り除いて水を入れなおし、各温度調節を「弱」にしてください。

氷のつくりかた

1 給水口カバーを矢印方向に開け、「水位線」まで水を入れ、給水口カバーを閉める

2 給水タンクの本体を持ち、静かに運ぶ

3 給水タンクの手かけを手前にして、「タンク位置」まで押し込む
押し込まないと、氷ができません。

給水タンク取り付け方向

●使用する水は塩素消毒された水道水をおすすめします。
ミネラルウォーターや浄水器の水など塩素分を取り除いた水は雑菌や水あか、ぬめりなどが繁殖しやすいため、こまめなお手入れが必要です。
●ミネラルウォーターをお使いの場合、硬度 100mg/L 以下のものをお使いください。
●給水タンクを取り出すときには、必ず手かけに指をかけて引き出してください。レバーを持って引き出すと、タンクフタが開き水がこぼれます。

お知らせ ●給水タンクに水を入れすぎたり、給水タンクを傾けたり、ゆするとタンクフタ周囲から水がもれます。

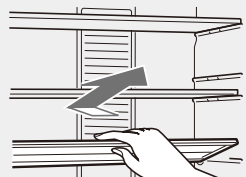
庫内部品の取りはずし／取り付けかた

●取り付けかたは、取りはずしの逆の順序で。

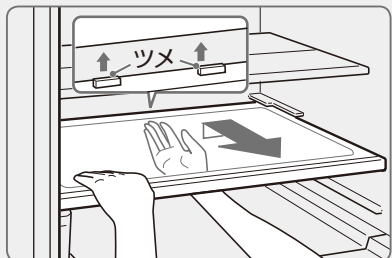
自在棚

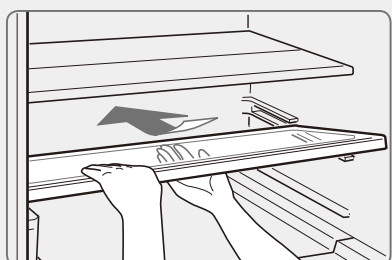
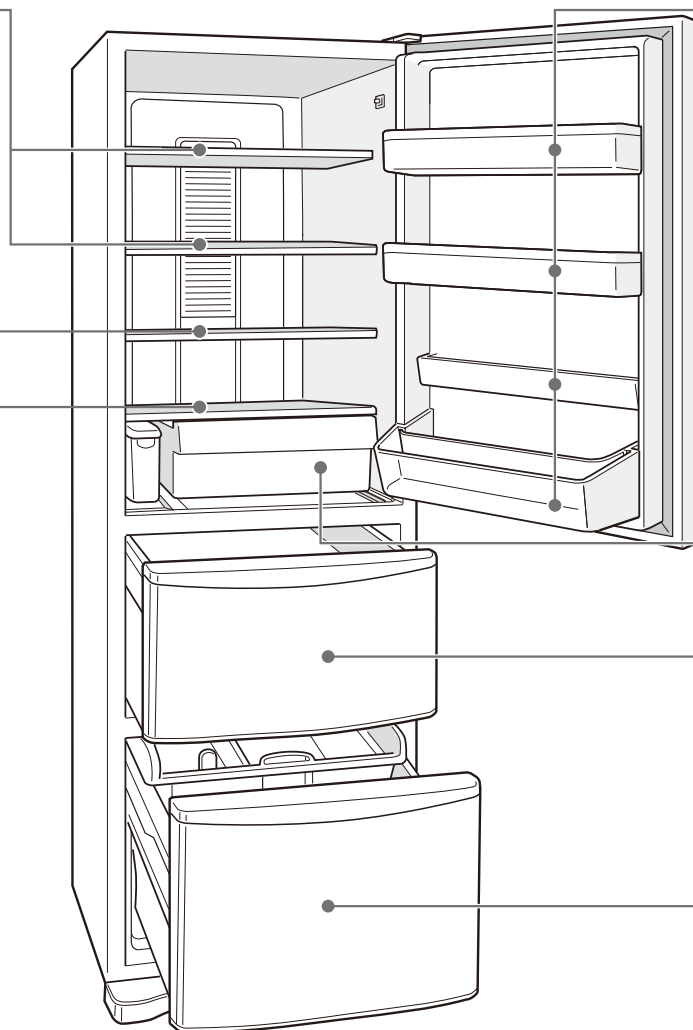
（12ページ「自在棚の取り付け位置の変えかた」参照）

3アクション棚

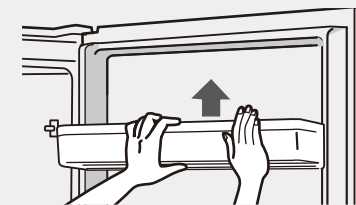
手前を押し込み、斜めにして取り出す。

チルドルーム天井板

取りはずしかた

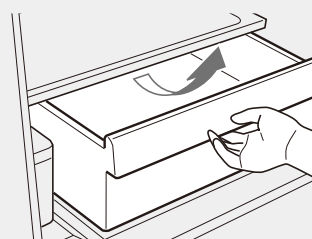
チルドケースを取り出してから、奥を持ち上げて後部を本体側のツメからはずし、手前を持ち上げて引き出す

取り付けかた

1 チルドケースを取り出してから、本体左右にあるレールに通す

2 奥と手前を持ち上げながら止まるまで押し込み、後部をツメの後ろに入れる

イラストはGR-B38Nです。

小物ポケット・ミニポケット・ダブルボトルポケット

ポケットの左右を交互に軽く下から突き上げてはずす。
（取り付けは固くしてあります。）
●ダブルボトルポケットの場合は、ミニポケットを先にはずしてください。

チルドケース

取りはずしかた

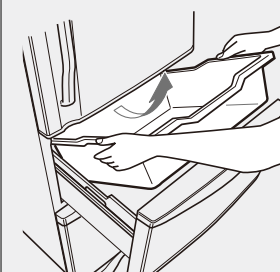
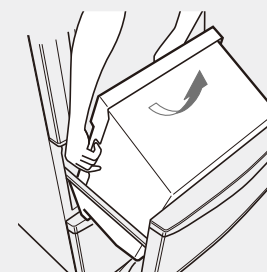
止まるまで引き出し、奥を持ち上げてさらに引き出す

取り付けかた

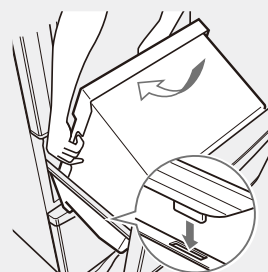
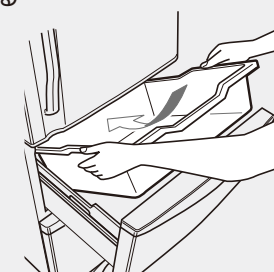
1 押し込み、持ち上げながら右に動かして底面右側の突起を本体側のレールの切り欠き部から入れる（底面左側の突起もレールに入ります。）

2 止まるまで奥に押し込む

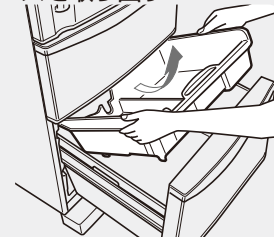
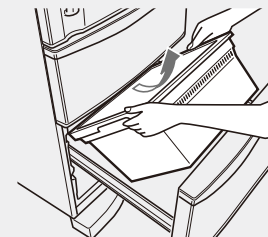
野菜室スライドケース・野菜容器

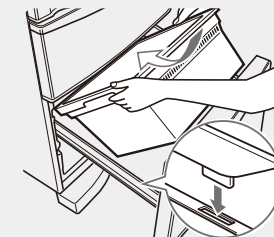
取りはずしかた

1 扉を止まるまで引き出し、野菜室スライドケースを取り出す

2 扉を持ち上げて引き出し、野菜容器を取り出す

取り付けかた

1 扉を止まるまで引き出し、さらに持ち上げて引き出し、野菜容器の突起をレールの穴に差し込む

2 野菜室スライドケースを斜め上から奥が持ち上がるように押し込み、野菜容器手前側の段に乗り上げないように取り付ける

冷凍室スライドケース・ストック容器

取りはずしかた

1 扉を止まるまで引き出し、さらに持ち上げて引き出して床に置き、冷凍室スライドケースを取り出す

2 ストック容器を取り出す

取り付けかた

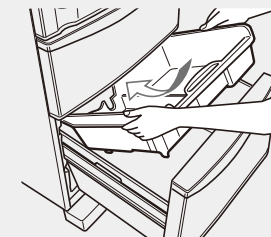
1 扉を止まるまで引き出し、さらに持ち上げて引き出して床に置き、ストック容器の突起をレールの穴に差し込む

2 冷凍室スライドケースをストック容器の上に置く

お手入れ

⚠警告

分解・改造・修理をしない
分解禁止
火災・感電・けが・やけどの原因になります。
また、冷媒回路などを傷つけると発火・爆発の原因になります。
修理はお買い上げの販売店にご連絡ください。

背面・側面などの冷媒回路を傷つけない
冷媒回路を傷つけない
傷ついた場合、冷媒がもれ出し、発火・爆発の原因になります。
傷ついた場合は冷蔵庫に触れず以下の事項を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。
1. 窓を開けて室内の換気を十分にする。（換気扇を使用しないでください。）
2. 火気や電気製品の使用を避ける。

お手入れのときは電源プラグを抜く
プラグを抜く
感電やけがの原因になります。

- 普段は、からぶきしてください。
- 1年に2回程度､庫内部品をはずして水洗いしてください。
- 自動製氷機のお手入れは 20 ページをご覧ください。

お手入れの手順

1 電源プラグを抜く

2 柔らかい布にぬるま湯を含ませてふく
- 台所用中性洗剤をご使用になるときは必ずうすめてご使用ください。
洗剤使用後は、必ず洗剤を水ぶきし、さらにからぶきしてください。

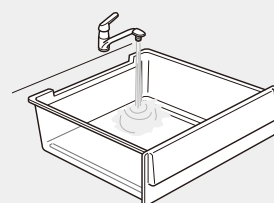
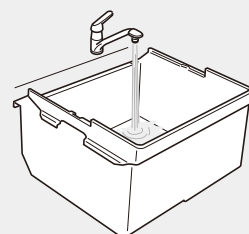
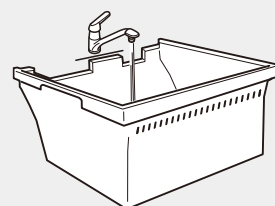
お手入れの後の点検

感電や火災などの発生を防ぐため、次の点検をしてください。
- 電源コードに傷がありませんか？
- 電源プラグに異常な発熱などがありませんか？
- 電源プラグをコンセントにしっかり差し込みましたか？
- もしご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご連絡ください。

お願い

- **次のものは使わないでください。**
  - 台所用洗剤の「家庭用品品質表示法に基づく表示」の「液性」覧にアルカリ性または弱アルカリ性と記載されている洗剤。（プラスチック部品が割れます）
  - みがき粉、粉せっけん、アルコール（エタノール・メタノールなど）、ベンジン、シンナー、酸、アルカリ、ワックス、石油、熱湯、たわしなど。（塗装面やプラスチックを傷めます）
- **化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。**
- **食用油が付いたときは、すぐにふきとってください。**

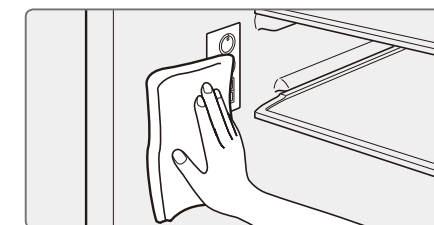
水洗いする部分

冷蔵室
- 自在棚
- 3アクション棚
- チルドルーム天井板
- チルドケース
- 小物ポケット
- 卵スタンド
- ミニポケット
- ダブルボトルポケット
- 給水タンク

野菜室
- 野菜室スライドケース
- 野菜容器

冷凍室
- 冷凍室スライドケース
- ストック容器
- アイスシャベル

ほこりを取る所

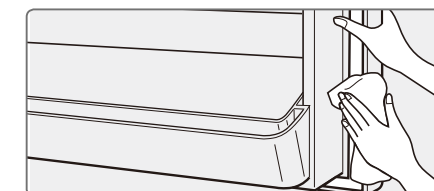
冷蔵庫背面・床
・冷蔵庫を引き出し、背面・壁・床の汚れをふく。

イラストは GR-B38N です。

からぶきする所

操作パネル
柔らかい布でからぶきする。

電源プラグを抜かずにお手入れすると、温度設定位置などが動くことがあるので、お手入れ後、温度設定位置などを確認する。

水ぶきする所(年1回程度)

ドアパッキンと本体側の吸着面

汚れると傷みやすく、冷気もれの原因になります。

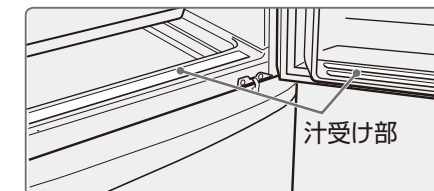
汁受け部

汚れや汁がたまったらふきとる。

自動製氷機のお手入れ

警告

分解・改造・修理をしない（分解禁止）
火災・感電・けが・やけどの原因になります。

自動製氷機の製氷部分（貯氷コーナーの上部）には手を触れない（接触禁止）
製氷皿が回転したとき、けがをする原因になります。

柔らかいスポンジを使い、必ず水洗いしてください。（ 水あか、カビなどの発生防止 ）

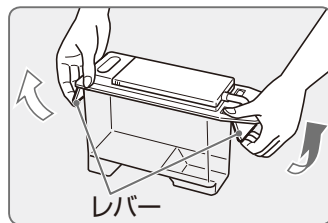
- 洗剤・漂白剤・みがき粉・たわし・シンナー・ベンジンなどは、においや故障の原因になります。
- 各部品の耐熱温度は60℃のため、熱湯は使わないでください。

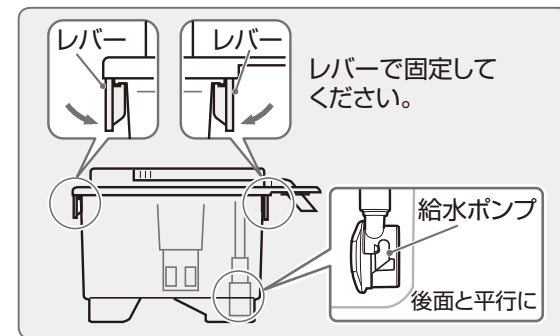
給水タンクのお手入れ

週 1 回のお手入れ

タンク・タンクフタ

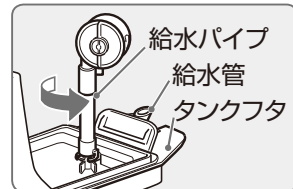
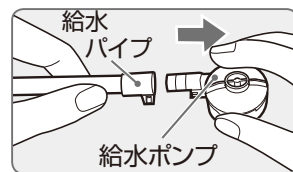
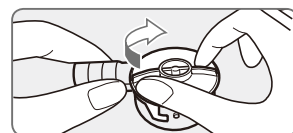
取りはずしかた

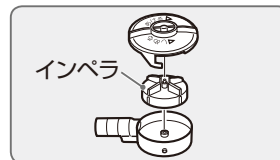
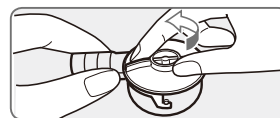
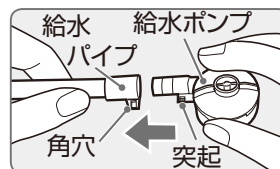
レバーを引き上げて、タンクフタをはずす

取り付けかたは取りはずしかたの逆の順序で。

- **タンクフタの取付は、レバー(2カ所)で確実に固定してください。**
  確実に取り付けないと、給水されず、氷ができなくなったり、給水ポンプの音が大きくなる原因になります。
- **タンクフタを取り付けたとき、給水ポンプがタンク後面と平行になっていることを確認してください。**
  確実に取り付けないと、給水されず、氷ができなくなったり、給水ポンプの音が大きくなる原因になります。

月 1 回のお手入れ

給水パイプ・給水ポンプ

取りはずしかた

1 給水パイプを矢印方向に回してタンクフタからはずす
給水管は取りはずさないでください。（故障の原因）

2 給水パイプから給水ポンプを引き抜く

3 ポンプケースフタを矢印方向に回してはずす

組み立てかた

1 給水ポンプの部品をセットする
インペラは磁石でできています。モーターと磁石が接続され回転していますので、異物などが付着していないか確認してください。

2 ポンプケースフタを矢印方向に回して取り付ける

3 給水ポンプの突起が給水パイプの角穴に入るまで押し込む

4 給水パイプをタンクフタのパイプに止まるまで差し込み、図の矢印方向に止まるまで回す

止まるまで回さないと、給水しないことがあります。

浄水フィルター

取りはずしかた

フィルターケースを矢印方向に押しながら引き抜き、浄水フィルターをはずす

取り付けかた

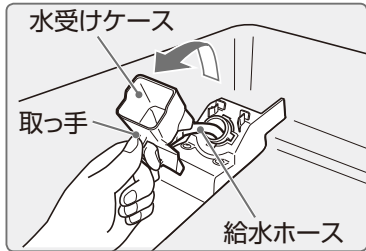
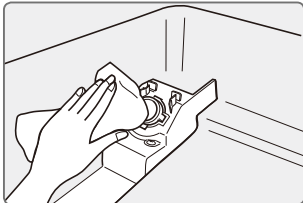
取りはずしかたの逆の順序で。

給水経路のお手入れ

年 1 ～ 2 回のお手入れ

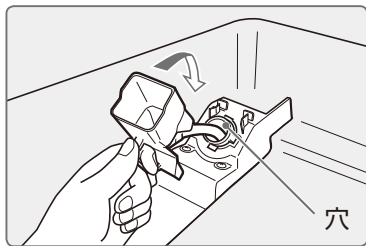
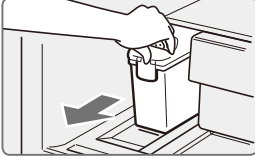
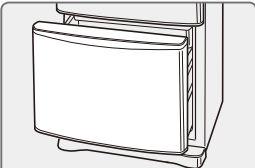
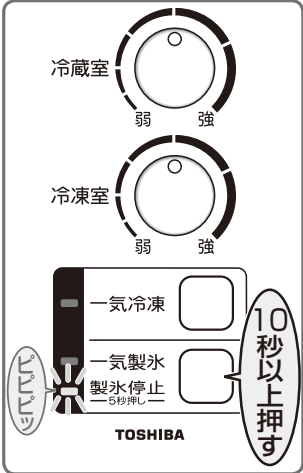
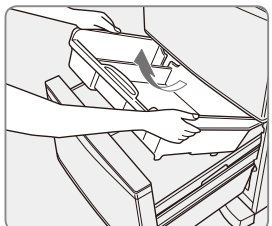
水受けケース

取りはずしかた

給水タンクを取り出してから、水受けケースの取っ手を持って引き抜く

- 水受けケースの取り付け場所（本体側）は柔らかい布に水を含ませてふく
- 給水ホースの内部は市販のブラシなどで水洗いする

お願い

- **水受けケースの取り付け場所（本体側）は水などを流して清掃しないでください。**
  製氷機の故障の原因になります。
- **水受けケースから給水ホースは取りはずさないでください。**水もれの原因になります。

組み立てかた

給水ホースを本体側の穴に入れ、止まるまで押し込む

こんなときには

停電したとき

- 扉の開閉を少なくして、新たな食品の貯蔵はさけてください。
  （庫内の温度が高くなります）

電源プラグを抜いたときやヒューズ・ブレーカーが切れたとき

- すぐに入れますと圧縮機にむりがかかり、故障の原因になります。
  ５分以上待ってから入れてください。
  なお、庫内温度や圧縮機の始動状態によっては、圧縮機保護タイマーが働き、電源プラグを入れてから６分間程度運転しないことがあります。

自動製氷機を長期間停止させるとき

1 給水タンクを取り出し、残った水を捨てる

2 冷凍室扉を開ける

3 製氷ボタンをアラーム音が「ピピピッ」と鳴るまで（約１０秒）押し、冷凍室扉を閉める

▶ アラーム音が「ピピピッ」と鳴り、冷凍室扉を閉めると、製氷停止のランプが点滅に変わります。

アラームが鳴ると、製氷皿が回転して、水・氷を貯氷コーナーに落としますので、必ず冷凍室扉を閉めてください。

4 製氷停止のランプの点滅が消えてから冷凍室扉を開け、貯氷コーナーの水・氷を捨てる

矢印方向に冷凍室スライドケースを取り出します。
取り出すときは、冷凍室スライドケースの奥から水がこぼれない様、注意してください。

5 冷凍室スライドケース・アイスシャベル・給水タンクを水洗いし、水分をふき取ってから元にもどす

6 製氷停止を設定する
（１１ページ「製氷を停止する（製氷停止）」参照）

製氷を開始するときは、製氷停止を解除してください。
（１１ページ「製氷を停止する（製氷停止）」参照）

冷蔵庫を長期間使わないとき

1 自動製氷機の水・氷を捨てる
（「自動製氷機を長期間停止させるとき」参照）

2 電源プラグを抜いてから庫内を掃除し、２〜３日間、扉を開けて乾燥させる

庫内灯を交換するとき

⚠警告

庫内灯を交換するときは、電源プラグを抜く

プラグを抜く　抜かずに行うと、感電の原因になります。

庫内灯について

- 庫内灯の電球はソケットと一体になっています。庫内灯を交換するときは電球を回さないでください。
- お買い上げの販売店でお求めください。（２７ページ参照）

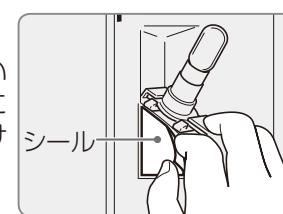
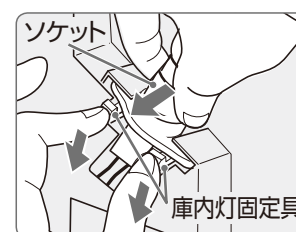
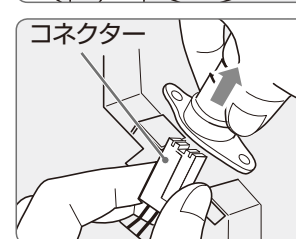
1 電源プラグを抜く

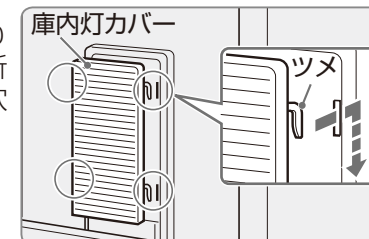
2 自在棚を取り出す

3 庫内灯カバーを上へスライドさせ、手前に引く

庫内灯カバーがはずれます。

4 シールをはがす

庫内灯交換後は、お買い上げいただいた庫内灯に付属のシールを張りつけてください。

5 庫内灯固定具を押しながら、庫内灯のソケットを持ち、手前に引き出す

6 コネクターを持ち、庫内灯を引っ張って抜く

庫内灯を取り付けは逆の順序で行います。

庫内灯カバーを取り付けるときは４か所のツメを本体側の穴に入れてください。

運搬するとき・転居のときには

⚠警告

背面・側面などの冷媒回路を傷つけない

冷媒回路を傷つけない　傷ついた場合、冷媒がもれ出し、発火・爆発の原因になります。
傷ついた場合は冷蔵庫に触れず以下の事項を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。
1. 窓を開けて室内の換気を十分にする。
（換気扇を使用しないでください。）
2. 火気や電気製品の使用を避ける。

移動・運搬をする

1 庫内の食品を取り出す

2 自動製氷機の水・氷を捨てる
（２２ページ「自動製氷機を長期間停止させるとき」参照）

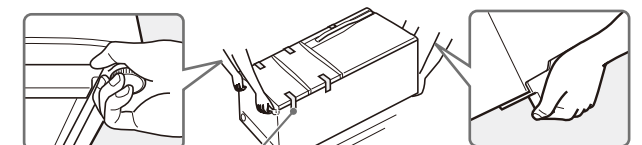
3 電源プラグを抜く

4 前面グリルをはずす

5 転倒防止ベルトを取り付けているときは、はずす

6 冷蔵庫を手前に引き出す

7 ２人以上で運搬する

- 前後の移動は、冷蔵庫を少し後方に傾けてください。
  移動用車輪が付いています。
- 冷蔵庫を運搬するときは、通路に保護シートを敷いてから行ってください。
  冷蔵庫内部の蒸発皿（外部から見えません）に水が残っていると、移動運搬時に水が床面にこぼれることがあります。
- 冷蔵庫を運搬するときは、必ず背面上部の取っ手と前面下部の調整脚を持ち、ハンドルや扉を持たないでください。
  冷蔵庫が落下したり、破損することがあります。

扉が開かないように、テープでしっかり固定してください。

転居のとき

- 横積みしないでください。（圧縮機の故障の原因）
- ５０／６０Hz共用です。（周波数の切換えは不要）

故障かな？と思ったとき

	こんなとき	お調べください	こんな理由です・こうしてください
冷却について	全く冷えない	電源が供給されていますか？	電源プラグが抜けていないか、ブレーカーやヒューズが切れていないか確認してください。
	よく冷えない	冷蔵庫の周囲にすき間がありますか？	放熱のため、すき間をあけて据えつけてください。（6 ページ参照）
		扉に食品の袋がはさまっていたり、冷凍食品などが冷凍室の奥に落ちていませんか？	半ドアの原因となり、冷気がもれ、冷えが悪くなります。
		食品を詰めすぎていませんか？	食品は間隔をあけて入れてください。
		冷凍室や野菜室の容器に、ケースへ当たる食品を入れていませんか？	半ドアの原因となり、冷気がもれ、冷えが悪くなります。
		温度調節が「弱」になっていませんか？	温度調節を「通常」または「強」側にしてください。
		扉を長時間開け放したり、ひんぱんに開けていませんか？	冷気がもれ、冷えが悪くなります。
		熱い食品を入れていませんか？	食品はさましてから入れてください。
		直射日光が当たったり、近くにガステーブルやストーブがありませんか？	直射日光が当たらない所、ガステーブルやストーブなどの熱源から離して据えつけてください。
		運転開始直後ではありませんか？	庫内が冷えるまで約 3 ～ 4 時間、夏場などは 1 日以上かかることがあります。
	冷蔵室の食品が凍結する	冷蔵室の温度調節が「強」になっていませんか？	冷蔵室の温度調節を「通常」にしてください。
		冷蔵庫の周囲温度が 5℃以下ではありませんか？	冷蔵室の温度調節を「弱」にすると、凍りにくくなります。
		水分が多い食品を冷蔵室の奥やチルドルームに入れていませんか？	奥は冷気吹出口に近く、またチルドルームは低温のため、凍りやすくなります。
	アイスクリームや冷凍食品などが固く凍る	一気冷凍や冷凍室の温度調節を「強」に設定していませんか？	冷凍室が低温になるため、固く凍りやすくなります。
音について	ガタガタ、ゴトゴトという音がする	床はしっかりしていますか？	床がしっかりしていないと、冷蔵庫がガタつきます。 丈夫な板を敷いてください。（6 ページ参照）
		周囲の壁に触れていませんか？	すき間をあけて据えつけてください。
		冷蔵庫がガタついていませんか？	調整脚を回し、ガタつきのない様に据えつけてください。
		冷蔵庫の周囲にお盆や容器などが落ちていませんか？	お盆や容器などを取り除いてください。
		給水タンクのタンクフタや給水ポンプ、給水パイプは正しく取り付けられていますか？	給水タンクのタンクフタや給水ポンプ、給水パイプは正しく取り付けてください。（20 ページ参照）
	アラーム音がする	半ドアではありませんか？	冷蔵室・冷凍室のいずれかの扉が 1 分以上開いていると、アラーム音が鳴ります。（11 ページ参照） なお、扉を閉めても、アラーム音が止まらないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。 （この場合、鳴りつづけているアラーム音は電源プラグを抜き、再び差し込むと 3 分後以降は鳴りません。）

つづく…

	こんなとき	お調べください	こんな理由です・こうしてください
音について	水が流れるような音や沸騰するような音（ボコボコ）、肉を焼くような音（ジュッ）がする	冷媒回路内を流れる冷媒や霜取りヒーターから発生する音です。	
	時々（1 ～ 2 時間毎に）ウィーン、ビィーン、ゴトゴトという音がする	自動製氷機（製氷皿や給水ポンプ）が動作するときに発生する音で、給水タンクの水が空のときも発生します。 自動製氷機をご使用にならないときは自動製氷機を停止（製氷停止）してください。（11 ページ参照）	
		氷が落ちるときの音です。氷が少ないときは多少大きくなりますが、氷が増えるとともに音は小さくなります。	
	野菜室を開けると、ブーンという音がする	冷却ファンが回転する音です。	
	庫内からピシッという音がする	温度変化により、部品がきしむ音です。	
	ヒューンという音がする	扉を開閉したときや冷蔵庫の運転開始時および停止時に一時的に発生する冷却ファンの音です。	
製氷について	全く製氷しない	給水タンクのフタや給水経路の部品が正しく取り付けられていますか？ 付け忘れはありませんか？	給水タンクのフタや給水経路の部品を正しく取り付けてください。（20、21 ページ参照）
		運転開始直後ではありませんか？	運転開始直後など、十分冷えていないときは、氷ができるまで約 5 ～ 6 時間かかります。（15 ページ参照）
		貯氷コーナーに冷凍食品を入れたり、アイスシャベルを所定位置以外に入れていませんか？	貯氷コーナーには氷以外のものを入れないでください。 また、アイスシャベルは所定の位置に置いてください。（14 ページ参照）
		製氷停止（製氷停止のランプが点灯）にしていませんか？	製氷停止を解除してください。（11 ページ参照）
		給水タンクに水が入っていますか？	給水タンクに水を入れてください。（15ページ参照）
		給水タンクはタンク位置まで確実に押し込んでいますか？	給水タンクはタンク位置まで確実に押し込んでください。（15 ページ参照）
	製氷量が少ない	氷が部分的にたまっていませんか？	氷はたいらにならしてください。（15 ページ参照）
		扉をひんぱんに開けたり、長時間開け放していませんか？	冷凍室の温度が上昇すると、製氷しないことがあります。
	氷ににおいがある	給水タンクの水は古くありませんか？	給水タンクの水を入れ替えてください。 氷を使わないと、長期間給水タンクに水が残ります。
		浄水フィルターや給水タンクは汚れていませんか？	浄水フィルターや給水タンクを水洗いしてください。（20、21 ページ参照）
		においのある水や水以外の飲料水を入れませんでしたか？	浄水フィルター目詰まりや汚れなどの原因になりますので、水以外の飲料水は入れないでください。
		においの強い食品をむき出しで入れていませんか？	においの強い食品はラップをしてください。
	氷がとけている 氷がつながっている	扉をひんぱんに開けたり、長時間開け放していませんか？ 電源が供給されていなかったり、停電になったことがありませんか？	冷凍室の温度上昇によるものです。
		長期間貯氷したままにしていませんか？	昇華により氷どうしがくっつくことがあります。
	氷が丸くなっている	長期間貯氷したままにしていませんか？	昇華により氷が丸くなることがあります。
	白色氷になったり、沈でん物ができる	一気製氷や一気冷凍が設定されていませんか？	氷がはやくできるため、水分中の空気が氷の中に閉じ込められ気泡になって白く見えます。
		ミネラル成分の多い水（ミネラルウォーターなど）を使っていませんか？	白色沈でん物ができ、白く見えます。

故障かな？と思ったとき…つづき

	こんなとき	お調べください	こんな理由です・こうしてください
操作パネルについて	一気冷凍と一気製氷のランプが点滅する	冷蔵庫に異常が生じています。	冷蔵庫に異常が生じると、一気冷凍と一気製氷のランプが点滅しますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。
露付き・霜付き・水もれについて	冷蔵庫の外側に露が付く	湿度が高くないですか？ 半ドアではありませんか？	露が付いたときは乾いた布でふきとってください。
	野菜室や冷蔵室の内側に露が付く	扉をひんぱんに開けたり、長時間開け放していませんか？ 半ドアになっていませんか？	湿度を高く保っているため、ビン類や缶類・食品にも露が付くことがあります。 露が付いたときは乾いた布でふきとってください。
	冷凍室に霜が付く	冷凍室の扉が半ドアになっていませんか？	霜が付いたときは乾いた布でふきとってください。
	水が庫内・床にあふれる	自動製氷機・給水タンクの水を抜かないで、冷蔵庫を移動・運搬していませんか？	自動製氷機・給水タンクの水を抜いてください。（23 ページ参照）
		給水タンクの水位線以上、水を入れませんでしたか？	給水タンクの水位線以上、水を入れないでください。（15 ページ参照）
		水受けケースが取り付けられていますか？	水受けケースを正しく取り付けてください。（21 ページ参照）
その他	庫内のにおいが気になる	においの強い食品（らっきょう、たくあん、ぎょうざなど）をむき出しで入れていませんか？	においの強い食品はラップをしてください。
	冷蔵庫周囲が熱くなる	冷蔵庫周囲には、放熱パイプを内蔵して、冷蔵庫に露が付くのを防止しています。お使いはじめや周囲温度が高いときなどには特に熱く感じられますが、庫内の食品には影響ありません。	
	扉を開けるのが重い	扉を閉めた直後にすぐ開けようとすると、扉が開かなかったり重く感じることがあります。これは、庫内に入った空気が急に冷やされて圧力が一時的に庫外より低くなるためです。	
	扉を閉めると他の扉が一瞬開く	扉を閉めたときの風圧を逃がすためです。	
	庫内がベタベタしている	操作性をよくするため、ケースやレールには食品衛生法に適合した潤滑剤が塗布されています。たれ落ちるなどしてケースやレール以外に付着している場合はふき取ってください。	

仕様／付属品／別売品

仕様／形名		GR-B38N	GR-B34N
全定格内容積		375L	339L
	冷蔵室	200L	164L
	野菜室	84L〈54L〉	84L〈54L〉
	冷凍室	91L〈60L〉	91L〈60L〉
外形寸法	幅	600 ㎜	600 ㎜
	奥行	684（695）㎜	684（695）㎜
	高さ	1734 ㎜	1608 ㎜
定格電圧		100V	
定格周波数		50/60 Hz 共用	
電動機の定格消費電力		94/97 W	91/95 W
電熱装置の定格消費電力（霜取り時）		181/181 W	181/181 W
消費電力量		冷蔵室扉内側の品質表示ラベルに表示してあります。	
製品質量		73kg	69kg

●定格内容積の〈　〉内は食品収納スペースの目安です。
●外形寸法奥行の（　）内は冷蔵室扉ハンドルを含む奥行寸法です。

■付属品

前面グリル………… 1

■別売品　お買い上げの販売店でお求めください。

	部品コード	希望小売価格
転倒防止ベルト	90007030	1,470 円
冷蔵庫用温度計	44079002	903 円
浄水フィルター	44073625	315 円
庫内灯	44058113	525 円

（希望小売価格は 2009 年 5 月現在、税込）

冷蔵庫の内容積について

●定格内容積は、日本工業規格（JIS C 9801）に基づき、庫内部品の内、冷やす機能に影響がなく、工具なしにはずせる棚やケースなどをはずした状態で算出したものです。この定格内容積には、食品収納スペースと冷気循環スペースとを含みます。
●引き出し式貯蔵室（ 野菜室、冷凍室 ）の場合、定格内容積とあわせ食品収納スペースの目安を表示しています。

自動霜取りについて

この冷蔵庫は自動霜取り方式ですので、霜取りの操作は不要です。

内蔵された冷却器（外部から見えません）に付いた霜は、ヒーターやファンの風で自動的に霜取りされます。また、霜取りでとけた水は、背面の蒸発皿にたまり、自動的に蒸発します。

JIS（日本工業規格）では、霜取り時の冷凍負荷温度（食品温度）の上昇は 5℃以下と規定されています。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

冷凍室の性能について

この冷蔵庫の冷凍室の性能は ＊＊＊＊（フォースター）です。

●冷凍室の性能
日本工業規格（JIS C 9607）に定められた方法で試験したときの冷凍室内の冷凍負荷温度（食品温度）によって、表示しております。

記　号	＊＊＊＊ フォースター
冷凍負荷温度（食品温度）	－ 18℃以下
冷凍食品貯蔵期間の目安	約 3 ヵ月

●冷凍食品の貯蔵期間
冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類、店頭での貯蔵状態、冷蔵庫の使用条件などによって異なり、上表の期間は一応の目安です。

●JIS の冷凍能力試験方法は次のとおりです。
(1)冷蔵室内温度が、0℃以下とならない範囲で最も低い温度になるように温度調節位置を調節して試験します。
(2)冷蔵庫の据えつけ場所の温度は 15 ～ 30℃の範囲を基準としています。
(3)冷凍室定格内容積 100L 当り 4.5kg の食品を 24 時間以内に −18℃以下に冷凍できる冷凍室をフォースター室としています。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝生活家電ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-76**

受付時間：365日　9:00〜20:00

携帯電話・PHSなど　**022-774-5402**（通話料：有料）

FAX　**022-224-6801**（通信料：有料）

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（別添）

- この東芝冷凍冷蔵庫には、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買い上げの日から 1 年間です。ただし、冷凍サイクル（圧縮機・凝縮器・冷却器）・冷却器用ファン・冷却器用ファンモーターについては 5 年間です。**

補修用性能部品の保有期間

- 冷凍冷蔵庫の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後９年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　出張修理

24 〜 26 ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。また、**食品の補償など製品修理以外の責はご容赦ください。**

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は

修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	東芝冷凍冷蔵庫
形名	GR-B38N, B34N
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買い上げの販売店名を記入されておくと便利です。 TEL.

廃棄時のお願い

2001 年 4 月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

長年ご使用の冷蔵庫の点検を！

このような症状はありませんか。

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コードに深いキズや変形がある。
- 焦げくさい臭いがする。
- 冷蔵庫床面にいつも水が溜まっている。
- ビリビリと電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

東芝ホームアプライアンス株式会社

アプライアンス事業部

〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）

1HFU-B